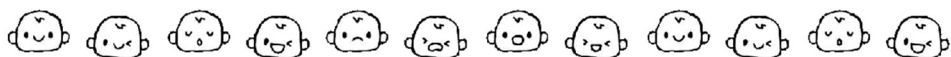




2023年3月1日 末長こぐま保育園

暖かい日と寒い日を繰り返しながら、少しずつ春が近づいてきています。早いもので、今年度ももうすぐ終わりを迎えようとしています。一年間を振り返ると、いちご組の子どもたちの大きな成長を感じます。四月にはハイハイしていた子どもたちが、今はしっかりした歩みでお友だちと手を繋いで歩くことも出来るようになってきました。保護者の皆様が「いっぱい遊んでね」「楽しく過ごしてね」と毎日送り出してくださったことや、たくさんのご理解とご協力に心から感謝しています。本当にありがとうございました。3月下旬には、一足早くばなな組の保育室で生活するようになります。詳しい日時はまた後日お伝えしますが、送り迎えの支度の変更点など、再度確認をよろしくお願いします。



いちご組の子どもたちは少しずつ言葉が増え、気持ちを伝えようと単語で言葉を話したりかわいい仕草で繰り返し、気持ちを表現しています。泣いたり怒ったり大声をあげたり、「ねえ、こうしたいんだよ」と必死に伝えています。保護者の方からも「〇〇ができなくて大泣きだった」「〇〇をしながらなくて困った」という家庭での様子を伺っています。思い通りにならない葛藤を経験して、我慢したり切り替えたりする力がついていきますが、それまでは大人もどう関わったら良いのか悩んでしまうことも多いと思います。

子どもの個性と思い、その時によって適した対応の仕方が違ってくるので保育者も試行錯誤しています。私たちが大切にしているのは、まず気持ちを受け止めることです。「そうなのね、今は〇〇の気持ちなの」「イヤか～、じゃあ後でしよう!」と言ったあと、何か楽しいことをしてからまた誘いかけると気持ちを切り替えられることもあります。我慢や切り替えは、まず心が満足してからできるものです。思いを受け止めつつ大切なことは繰り返し伝え、大きく成長するこの時期を丁寧に関わっていきたいと思います。

できることがいっぱい♪

よく歩き、活動がどんどん活発になっているいちご組さん。なんでも“自分で”できる気持ち満々で動いています。大人がヒヤッとして止めた時も、「なんで止めるの?」。ぶつかった後、「オヨ!?’といった様子で、自分でぶつけたところを撫でてみたり「なでなでして～」といった様子で指差しながら来たりします。表現のバリエーションが豊かになり、言葉や仕草で気持ちを伝えてくるようになりました。友だち同士の関わりも増え、抱きついたり手を繋ぎで一緒に歩いたり。「かして」の仕草や「いやだ～いやいや」など言葉にして伝える時もありますよ。かわいい子どものつぶやきを聞き逃しなく楽しんでください。

お部屋では坂道の巧技台が人気! 立ったまま登ったり降りたり。大きな遊具を持って登ってみたり、車を滑らせたりと遊び方にも発展がみられるようになりました。身体も大きくなり、今まで届かなかった物に手が届くようになりました。積み上げること、上によじ登ること、斜面や段差を登ることは、平面を歩く・走るという動きとはまた違った筋肉を使います。どうやったら落ちないか? バランスを取るには? 大人になると何気なくやっている動きでも、いちご組の子どもたちは頭をフル回転させて楽しみチャレンジしています。



一年間ありがとうございました!



日々成長する子どもたちの姿を、毎日楽しみにしていました。こんなことができるようになった、こんな仕草するようになったなど、毎日笑顔で、ぎゅっと抱きしめてくれる子どもたちに元気をいっぱいもらっていました。この一年間至らない点も多々あったと思いますが、無事過ごせたのも保護者の皆様のご理解とご協力あったことだと感謝しています。残りわずかですが、子どもたちと一緒に過ごせる時間を大切にしたいと思っています。一年間いちご組を支えていただき、ありがとうございました。

いい意味で驚かされた1年でした。身体能力や理解力のレベルの高さなど素晴らしいなあと日々感じています。0歳児クラスで「こんなこと出来るのか」だったり「こんなこと考えていたのか」など今まで出会ったことのない0歳児の子どもたちに出会うことが出来ました。保護者の皆様や子どもたちに支えられた1年でした。ありがとうございました。